

フランスサロン 6 回目「フランス語で語ろう！」

今学年から学校で始まる「道徳と国民教育」とは？
～テロ事件後の影響、学校と教育の役割について考える～

国際交流員を講師として母国の歴史や文化、生活様式などを紹介する講座を府民向けに開催することで、国際交流員と府民との交流機会を増やし、府民の国際理解を促進させます。

今回、2015年1月に起きたテロ事件に従い、学校で導入された「道徳と国民教育」の内容、背景と目標についてフランス語で話し合いました。

日時： 2015年9月26日(土) 14:00～15:30

内容：

- ・テレビニュースを見て、分かった内容について話し合った
- ・内容をテキストで読んで、言葉を説明した
- ・意見を述べてもらった
- ・今年の新しい教材の内容を見て、表現と言語を説明した
- ・フランス文化や教育の背景、現状を解説してから、感想を述べてもらい、議論を行った
- ・自分がフランス人の生徒になった気分で、教材にある課題をみんなで考えた

講師： ボナミ・アリス 当センター国際交流員（フランス出身）

会場： 京都府国際センター（京都駅ビル9F）

対象： フランス語中級者以上（B1以上）

参加者： 5名

主催：（公財）京都府国際センター

アンケート結果：

- * フランスの現在の問題について知れて、色々なテーマについて話せて良かったです。
- * この講座に参加して、色々な勉強ができてとても良かったと思います。スピードは丁度良かったです。フランス語を真面目に勉強できる機会を与えてくれて、ありがとうございました。
- * 日本の学校とは大きく状況が異なり、とても興味深い内容でした。日本の子ども達は何か意見を求められても一定の型にはまった（大人が喜びそう）答えしか言わない子も多く。もっとフランスのようにきちんと向き合って他の人の言うこともちゃんと聞き、自分の意志もちゃんと伝えられる訓練が必要と思う。「...」もっと話せるようになりたいです。またこういう機会があれば嬉しいです。本日、ありがとうございました。

